

# セクシュアリティの諸課題

## グローバルな視座から

日本では、人文社会科学分野でも医学保健分野などでも、セクシュアリティ研究への関心は低いままで推移し、世界的な研究水準との差はますます大きくなっています。セクシュアリティ研究は、学際的なアプローチが求められ、多様な視点からの研究が求められています。

このたび、明治大学文学部・テンプル大学ジャパンキャンパスでは、共同連続講座を開講します。日本社会のセクシュアリティの現状を、さまざまな専門領域の講師が、世界的な研究結果を踏まえ、多様な視点から分析し、参加者とともにセクシュアリティを捉え直す機会を創出します。

各分野の研究者、臨床家、学生など、多くの方の参加をお待ちしています。(大学の正式な単位にはなりません。)

第1回 2019年1月28日(月) 18:30~20:00 明治大学駿河台校舎 グローバルホール

Dariusz Piotr Skowronski ダリユッシュ ピオトゥル スコブロインスキー

(テンプル大学Assistant Professor 臨床心理学・ヒューマンセクソロジー)

「セクソロジー入門 カップルの性的問題とそれへの臨床的介入」

The Introduction to Sexology and Couples Sexual Problems and Clinical Interventions. (言語:英語 日本語スライド付)

第2回 2019年2月7日(木) 18:30~20:00 テンプル大学ジャパンキャンパスホール

平山満紀 Maki Hirayama(明治大学文学部准教授 社会学)

「近代化、西洋化以前の日本におけるセクシュアリティの慣習とその意味世界」

The Customs and the Universe of Meaning of the Japanese Sexuality before the Era of Modernization and Westernization. (言語:英語)

第3回 2019年3月28日(木) 18:30~20:00 テンプル大学ジャパンキャンパスホール

Alice Pacher アリス パッハー(明治大学大学院文学研究科博士後期課程 社会学)

「現代の日本とドイツ語圏の国々における性的親密さ(あるいはその無さ)を考える:セックスレスカップルのインタビュー結果より」

An Exploration of (No) Sexual Intimacy in Contemporary Japan and German-Speaking Countries: Introducing Interview Results about Sexless Couples. (言語:英語)

第4回 2019年4月10日(水) 18:30~20:00 明治大学駿河台校舎(詳細後日)

森木美恵 Yoshie Moriki(国際基督教大学上級准教授 文化人類学)

「日本の家族における『川の字就寝』とセクシュアリティ」

Kawanoji-Sleeping Practice and Sexuality in Japanese Families(言語:英語 日本語スライド付)

# 講座内容

## 第1回 Dariusz Piotr Skowronski ダリュッシュ ピオトル スコプロインスキ



### 「セクソロジー入門 カップルの性的問題とそれへの臨床的介入」

2019年1月28日(18:30~20:30)明治大学グローバルホール

初回は、人間の性がどのような表れ方をするのかへの、心理学的・医学的・また社会的文化的な側面への、学際的で包括的な見方に基づいた、ヒューマンセクシュアリティへの現代的アプローチと臨床セクソロジーの紹介をします。特に焦点を当てるのは、カップルの性的問題へのアセスメントと対処です。臨床的セクソロジー領域でなされる臨床的介入、そして、性的なウェルビーイング(健康・幸福)を向上させるのに用いられる現代のカウンセリングアプローチの概要をお話します。

## 第2回 平山満紀 Maki Hirayama



### 「近代化、西洋化以前の日本におけるセクシュアリティの慣習と意味世界」

2019年2月7日(18:30~20:30)テンブル大学ジャパンキャンパスホール

近代化、西洋化以前の日本では、お祭りの夜の性的解放などのユニークな性的慣習が広まっており、文化のさまざまな面が性に関わる慣習や考えに特徴づけられていました。この回は、時代的変化や地理的な違い、身分や職業による差などに注目し、宗教、家族制度、また共同体の人間関係に言及しながら、前近代日本社会の多様な性的慣習についてお話します。

## 第3回 Alice Pacher アリス パッハー



### 「現代の日本とドイツ語圏の国々における性的親密さ(あるいはその無さ)を考える セックスレスカップルへのインタビューより」

2019年3月28日(木)18:30~20:30テンブル大学ジャパンキャンパスホール

21世紀の初めから、西洋社会ではカップル関係のセクシュアリティについて独特の議論が盛んになりました。その議論には、セックスは親密性や、喜びや楽しみを追求するための絆を築くための重要なものだという信念が常に含まれています。ところが日本では異なった変化を目にします。人々が配偶者と性的に交わろうとしないことが、日本の現代社会でのカップル関係の特徴になっているのです。この回には、日本の男性、女性への質的インタビュー結果を、ドイツ語圏の男性、女性の結果と比べながら示します。この比較は性的コンテキスト、特にセックスレスがそれぞれの社会でどのように違って捉えられているかに特に焦点を当てます。

## 第4回 森木美恵 Yoshie Moriki



### 「日本の家族における『川の字就寝』とセクシュアリティ」

2019年4月10日(水)18:30~20:30 明治大学(詳細後日)

この回は、日本の家族における「川の字就寝」と女性のセクシュアリティの関係に焦点を当てます。日本の女性たちは、「母親」としての役割—社会的に非・性的に見られるもの—を強く内面化させており、そのようにふるまうことを期待されています。日本におけるセックスレスカップルの現状分析から、セクシュアリティと親であることについて考えます。